



米田のFP通信

ちょっと気になる「保険」や「年金」についての話題をお届けします。



ご挨拶

10月～11月にかけて保険会社から保険料控除証明書が送られてきます。保険料控除証明書は、年末調整や確定申告に必要となります。

紛失してしまうと再発行に時間がかかることがあります。

提出期限に間に合わずにご迷惑をおかけすることもありますので大切に保管しておいてください。

保険会社から控除証明書が送られてくるこの時期、加入している保険の内容について確認する機会にはいかがでしょうか？



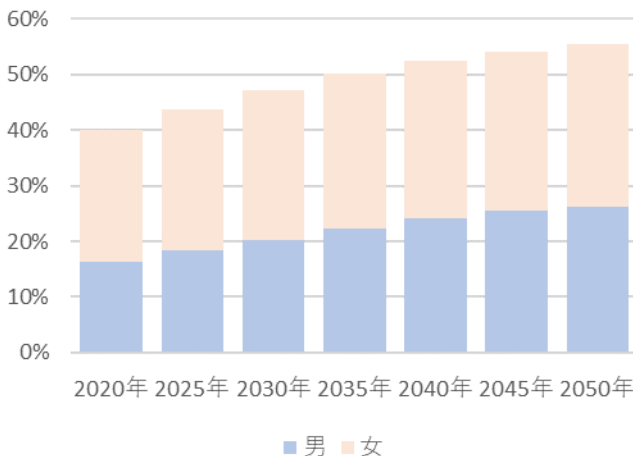
今月号のちょっと気になるお金のコラム

クレジットカードの不正利用が過去最高を記録しました。カード番号やパスワードを抜き取る手口を把握し被害にあわないようにしましょう。

「孤独死」「孤立死」、半年で4000人

警察庁の8月の発表によると、今年1月から6月の半年間に警察が遺体の検視を行った102,965人のうち、自宅で亡くなった一人暮らしの方は37,227人でした。

そのうち3,936人は死後1か月以上経過後に発見されました。亡くなった後1か月以上自宅で発見されずにいる人が4,000人近くもいるという事実を聞くと、将来に対して不安を感じる方もいるかもしれません。下表は2050年までの65歳以上人口に占める一人暮らしの人の割合を表しています。



現在でも65歳以上の人の44%が一人暮らしですが、2050年には55%まで増えることが予想されています。経済的な準備はもちろんですが、社会や周囲の人とのつながりの持ち方も大きな課題ではないでしょうか。



1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、ライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。年間200人以上の方や、企業・医療法人や個人経営者まで幅広くお金のご相談をさせていただいています。

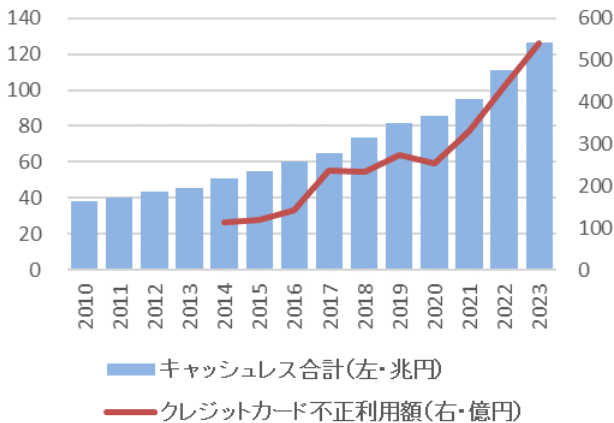
株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店
〒543-0018大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館3階
電話06-6766-1511 携帯090-1152-3889 メールyoneda760@rml.co.jp

ちょっと気になるお金のコラム

クレジットカード不正利用額 過去最高の540億円

7月に新紙幣が発行されましたが、キャッシュレス決済比率が高まったことでいまだに手元にないという人も多いようです。

下図は2010年からのキャッシュレス決済額の推移です。
(一般社団法人日本クレジット協会および経済産業省の公表資料より作成)



2023年のキャッシュレス決済金額は126.7兆円、民間の最終消費支出は322.4兆円なので40%近くがクレジットカードなどのキャッシュレス決済でした。キャッシュレス決済の増加に伴い不正利用も増加、2023年の不正利用額は540億円と過去最高でした。

クレジットカード不正利用の代表的な手口

不正利用の被害者にならないためには不正利用の手口を知っておくことが大切です。

1. フィッシング詐欺

金融機関やカード会社、電力・ガス会社を装ってメールやSMSを送り、本物に似せた偽サイトにアクセスさせ、カード情報を入力させるものです。

覚えのない利用先や利用額が記載されていて正常な判断ができなくなり、記載されたURLからカード情報などを入力させます。

メールやSMSが送られてきたらすぐに記載のURLを開かず、送信元のメールアドレスを確認したりタイトル名を検索するなどして確認しましょう。

2. 偽サイトでの買い物

架空のサイトで架空の商品・サービスを販売している場合があります。カード決済をしても商品が届かず、カード情報だけが抜き取られてしまいます。

入手困難な商品が手ごろな価格で販売されている、日本語表記が不自然、会社名や住所が架空、などはオンラインショッピング詐欺である可能性があります。すぐに飛びつかずに慎重に判断しましょう。

3. スキミング

ATMやカードリーダーにスキマーと呼ばれる装置を取り付け、カードの磁気情報を読み取ります。またゴルフ場、ジムのロッカー荒らしによりスキミングされてしまうケースもあるようです。

最近のICチップのカードは暗号化されているので情報を読み取ることが困難になっています。できるだけ磁気カードではなくICチップ搭載のクレジットカードを利用するようにしましょう。

4. ショッピングサイトのログインID、PWの管理
ショッピングサイトの他、交通系サイト、チケット予約サイトなど、クレジットカード情報が登録されているサイトに不正ログインされ、カード情報が盗み出されることもあります。

パスワードの使いまわしを避け、複雑なパスワードを設定しましょう。また、2要素認証がある場合には2要素認証を利用しましょう。

事業者側からの流出などは自分たちでは防ぎようがないですが、自分でできる対策はしっかりと安心して上手にキャッシュレス決済を利用したいですね。